

## 古典は何を勉強するの？ 第一話



皆さん、こんにちは。**「現代文と違って、古典は何を何のために勉強するの？」**と書いている人はいませんか。様々な文章を読みながら、一緒に考えていきましょう。

源氏の五十一巻、櫃に入りながら、在中将・とほぎみ・せりかは・しらら・あさうづなどいふ物語ども、一袋取り入れて、得て帰る心地のうれしさぞいみじきや。

走る走る、わづかに見つ、心も得ず、心もとなく思ふ源氏を、一の巻よりして、人もまじらず、几帳の内にうち伏して引き出でつ見る心地、後の位も何にかはせむ。

(『更級日記』)

### 【現代語訳】

源氏の五十一巻を櫃に入れたまま、『在中将』・『とほぎみ』・『せりかは』・『しらら』・『あさうづ』などという物語を、一袋に入れて、手に入れて帰る気持ちのうれしさはすごいものであるよ。

胸をわくわくさせ、少しだけ見ながら、満足できず、じれったく思っていた源氏物語を、一巻から、人もまじらず、几帳の中に寝転がって一冊ずつ引き出しなら見る時の気持ちは、後の位さえ何になるだろうかと思われるほどすばらしい。

普段は、自分の机の上や部屋の中を掃除しないで怒られるのに、テスト前になると無性に部屋を片付けたくなる…。そんな経験はありませんか。そして、テストが終わると解放感でいっぱいになり、掃除のことなどすっかり忘れて好きなマンガやゲーム、友達のおしゃべりに夢中になるなんて経験も。

この『更級日記』の作者は、以前読んだ『源氏物語』の続きが読みたくて、読みたくて。紹介した部分は、ようやく全巻を手に入れて、帰って読む時の幸せが書かれています。ただ、作者はテスト前で本を買に行けなかったのではありません。当時は印刷の技術がなく、田舎で暮らしていた作者には手に入れることができなかったのです。

現代と状況は違いますが、欲しくても手に入れられなかったものを、ようやく手に入れた作者の**ワクワク感**を、皆さんも想像できるではありませんか。

